



パワードPAシステム

BRX300 Series

取扱説明書

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
この取扱説明書は、お読みになった後も、いつでも見られるところに保管してください。

目次

安全上のご注意.....	2
各部の名称と機能	3
仕様	4

安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。以下の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

警告

- 必ず本体に記載のある定格電圧の範囲内でご使用ください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コードは本機専用です。ほかの製品に使用するとコードの破損や火災、感電の原因になります。
- 使用する電源電圧に応じて適切な電源コードをご使用ください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードの上に重い物を乗せたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったりしないでください。コードが破損して火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだら、ただちに使用を中止して販売店に交換をご依頼ください。
- 確実にアース接続をしてください。また、アース線の着脱は電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。感電の原因となります。
- 水に入れたり、濡らさないでください。また、水が入った容器や金属片などを、機器の上に置かないでください。火災や感電の原因となります。
- 煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常がある時は、ただちに電源コードをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。お客様が保守できる部品は内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。
- 長時間使用しない時や落雷の恐れがある時は、電源コードをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。また、雷が鳴り出したら金属部分や電源プラグには触れないでください。
- ポールマウントする場合や吊り下げて使用する場合は、十分な転倒 / 落下防止策を施し、定期的に保守点検を行ってください。転倒 / 落下によるけがや故障の原因となります。設置場所 / 器具の強度不足や設置方法の不備、経年劣化などが原因で発生した事故に関しては、弊社は一切の責任を負いかねます。

注意

- 必要な電流容量を安全に供給できるよう、適切な電源回路を用意してください。
- 事前に機器の重量を確認し、けがをしないように持ち運びや設置を行ってください。
- 斜面や不安定な場所に設置しないでください。転倒 / 落下によるけがや故障の原因となります。また、滑りやすい面に置くと音の出力エネルギーによってスピーカーが動いてしまう恐れがあります。ゴムマットを下に敷くなどの滑り止め対策を施してください。
- 以下のような場所に設置しないでください。火災や故障の原因となります。
 - ・ 直射日光のあたる場所
 - ・ 温度の特に高い場所、または低い場所
 - ・ 湿気の多い場所
 - ・ ほこりの多い場所
 - ・ 振動の多い場所
 - ・ 塩害や腐食性ガスが発生する場所
- 通気性の良い場所に設置し、通気口は絶対に塞がないでください。熱がこもって、火災や故障の原因となります。
- 機器の移動は、電源コードや他の機器との接続ケーブルを全て外した上で行ってください。接続したまま移動すると、けがや故障、ケーブル破損の原因となります。
- 配線は、全ての機器をコンセントから抜き、取扱説明書に従って正しく行ってください。接続したまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- 濡れた手で、電源コードや他の機器との接続ケーブルの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。
- 電源を入れたり切ったりする前に、各機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴覚障害や機器の破損の原因となります。また、機器の電源を ON にする時は、スピーカーの破損を防ぐために一番最後に本機の電源を入れてください。電源を OFF にする時は、一番最初に電源を切ってください。
- 大きな音量に連続してさらされると、聴覚障害の原因となります。音量の設定は慎重に行ってください。
- 過大入力を加えないでください。また、長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となります。

各部の名称と機能

パワード・サブウーファー「BRX325-SP」



① 電源端子

付属の電源ケーブルの接続端子です。

② 電源スイッチ

電源の ON/OFF スイッチです。

③ 通気口

内蔵パワーアンプを冷却するための通気口です。絶対に塞がないでください。

④ パワーアンプ出力端子

2Pスピコンのパワーアンプ出力端子です。フルレンジスピーカー「BRX308-LA」を接続します。1つの端子で2台の「BRX308-LA」を駆動できます。

⑤ ステータス LED

動作状況に応じて以下のように点灯します。

POWER LED

電源が供給され、電源スイッチを ON にすると緑色に点灯します。

AMP TOP A / TOP B / SUB LED

3 台搭載されているパワーアンプの状態を表示します。

緑色に点灯：準備が完了し使用可能な状態になっています。

赤色に点灯：パワーアンプに異常があります。高温になっているか、過大出力が続き出力制限が掛かっている可能性があります。

IN TOP A / TOP B / SUB LED

入力信号の状態を表示します。

緑に点灯：-40dBu 以上の信号が入力されています。

黄色に点灯：信号の大きさが 17dBu 以上で入力制限を掛けています。

赤に点灯：信号の大きさが 21dBu 以上でクリップしています。

備考 ・ LED が瞬間的に黄色に点灯するようにゲインを設定することをお勧めします。

注意 ・ 入力信号の制限やクリッピングが長期間続くと、スピーカーが破損する原因となります。

⑥ オーディオ入力端子

XLR(バランス)のオーディオ入力端子です。TOP と SUB の2つの端子を備えています。入力モード切替スイッチの設定によって、使用する端子が異なります。

⑦ スルー出力端子

XLR(バランス)のスルー出力端子です。オーディオ入力端子に入力された信号をそのまま出力します。他の BRX Series やパワード・スピーカーなどを接続すればシステムを拡張できます。

⑧ 入力モード切替スイッチ

入力モードを切り替えるスイッチです。「INPUTY」モードでは、「TOP」のオーディオ入力端子に入力された信号でフルレンジスピーカー「BRX308-LA」とサブウーファー「BRX325-SP」の両方を駆動します。「DUAL」モードでは、「TOP」のオーディオ入力端子に入力された信号で「BRX308-LA」を、「SUB」のオーディオ入力端子に入力された信号で「BRX325-SP」を駆動します。

フルレンジ・スピーカー「BRX308-LA」



① 入力／スルー端子

2Pスピコンの入力／スルー端子です。内部で並列に接続された、2つの端子を備えています。どちらか一方をサブウーファー

「BRX325-SP」からの入力端子として使えば、一方はもう一台のフルレンジ・スピーカー「BRX308-LA」に信号を出力するスルー端子として使用できます。

仕様

BRX308-LA 仕様

周波数レンジ (-10dB)		80Hz ～ 20kHz
指向角度 (水平×垂直)		110°× 12°
最大音圧レベル		136dB SPL(ピーク)
ドライバー構成	LF	8 インチ (203mm) × 2
	HF	3 インチ (76mm)
入力端子		4P スピコン× 2
エンクロージャー		黒、Duraflex 仕上げ
寸法 (W×H×D)		663×300×388mm
質量		20kg

BRX325SP 仕様

周波数レンジ (-10dB)		32 ～ 250Hz
最大音圧レベル		136dB SPL (ピーク)
ドライバー構成		15 インチ (381mm) × 2
パワーアンプ		1,000W × 6
入力	端子・形式	TOP : XLR、SUB : XLR
スルー出力	端子・形式	TOP : XLR、SUB : XLR
スピーカー出力	端子・形式	4P スピコン× 2
電源		AC100V、50/60Hz
エンクロージャー		黒、Duraflex 仕上げ
寸法 (W × H × D)		663 × 881 × 693mm (除キャスター／突起部)
質量		86kg
付属品		電源コード、和文取扱説明書

●商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。●掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。●記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。



<https://www.hibino.co.jp/>
E-mail: marketing@hibino.co.jp

ヒビノ株式会社 ヒビノマーケティング Div.

営業部
〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70

札幌オフィス
〒063-0813 北海道札幌市西区琴似三栄1-1-20

大阪プランチ
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18-8

名古屋オフィス
〒454-0811 愛知県名古屋市中川区三ツ池町2-20

福岡プランチ
〒812-0041 福岡県福岡市博多区吉塚4-14-6